



知って得する 健康まつり開催

10月7日、市役所市民交流棟で開催された「健康まつり」には、家族連れなど約200人が来場。健康コーナーやクイズラリー、ストレッチエクササイズのブースをスタンラリーで巡りました。感染症とともに過剰に多くを学んだ今、改めて心と体の健康を考える貴重な機会になりました。



終戦から78年 戦没者追悼式・公務殉職者追悼式

9月30日、戦没者追悼式と公務殉職者追悼式がしこちゅーホールであり、遺族など約80人が参列。哀悼の意を捧げました。市遺族会を代表して石川秀光会長が「命の尊さ、平和の尊さを永遠に語り継いでいくことが最大の責務である」と追悼の言葉を述べ、参列者全員による献花が行われました。



土居東こども園



松柏保育園

豪華絢爛、勇壮華麗な写真の数々は本紙12月号に掲載！ご期待ください。

なお、広報が撮影した秋まつりの写真を、市公式ホームページ内に設置した特設ページに掲載しています。ぜひご覧ください。



豪華絢爛勇壮華麗 秋まつりが4年ぶりに本格開催

10月13日の土居地域、川之江地域を皮切りに、市内各所で秋まつりが開催。煌びやかな神輿や太鼓台、かき夫たちの勇ましい掛け声が、まちに彩りと活気を運んでくれました。

開催されるとあって、期間中まちは市内外から訪れた人で賑わいました。また今年も、太鼓台のある保育園などが4年ぶりに園庭や園外で運行を再開。子どもたちの笑顔と元気な声に地域の人たちも笑顔になり、ようやくコロナ禍前の賑わいを取り戻したと実感できる秋まつりでした。



大舞台を楽しみたい 森下さくらさんがリレーの全国大会出場

9月20日、三島東中3年の森下さくらさん（四国中央アスリートクラブ所属）が篠原市長を表敬訪問。10月7日から国立競技場で開催される「みんなであなごリレーフェスティバル」に、県代表として出場することを報告しました。森下さんは「楽しみながら走りたい」と笑顔で話しました。



小学生テニスの頂点に輝く 篠原絢さんが全国制覇を報告

10月3日、川之江小6年の篠原絢さんが（ブレジュールテニスアカデミー所属）が市役所を訪れ、8月に東京都で開催された「第一生命全国小学生テニス選手権大会」で優勝したことを報告しました。篠原さんは「得意なプレーを伸ばし海外選手とも戦えるよう頑張ります」と、新たな目標を掲げていました。



選抜抜かれた隊員達が技術を競う 全国大会で市消防職員が入賞

8月25日に札幌市で開催された「全国消防救助技術大会」に、市消防本部の三宅匠消防士長が四国地区の代表として出場。全長20メートルのロープを素早く往復する「ロープブリッジ渡過」で、見事入賞しました。培われた技術や精神力が、現場活動や後輩の育成に生かされることを期待されます。



個性を生かして日本一へ クラブ東予の4人が全国大会出場

9月27日、東予4市の中学生で構成するバレーボールチーム「クラブ東予」に所属する4人が市役所を訪れ、9月30日から和歌山県で開催される「全国ヤングクラブバレーボール大会」に出場することを報告しました。写真右から藤原有生さん（川北中2年）、眞鍋治貴さん（同3年）、溝淵冬馬さん（同3年）、杉尾英汰さん（三島西中3年）

秋を引き連れて駆け抜ける 別子・翠波はな街道サイクリング大会開催



10月1日、秋の深まりを告げる雨が通り過ぎた金砂湖畔公園（金砂町平野山）に、県内外から55人のサイクリストが集結。最大標高737m、ゆらぎの森（新居浜市別子山）を折り返し地点とする、総走行距離39.4キロメートルを駆け抜けました。このイベントは、タイムを競うものではなく交通ルールを守りながら、自然豊かな景観と地元のおもてなしを楽しむものです。コースの途中には水分や食べ物も補給できるエイドステーションが設けられ、参加者たちは銘菓や特産品で栄養を補給していました。

またこの日は、エイドステーションにもなっている湖岸広場（富郷町津根山）で「てららの・金砂湖畔広場感謝祭」が開催。サイクリストたちも賑わいに加わりました。今年大会最年少参加者の川崎悠人さん（土居高校1年・写真左上）は、スタート前に「別子・翠波はな街道を走るの初めてですが、みなさんに付いていけるよう頑張ります」と、笑顔で話してくれました。



ミライを担う人たちへ
秋川雅史さんトーク&ライブ

10月11日、本市に拠点を構え会計・税務などの総合サービスを提供するJBAグループ（合田英昭四国支社長）が、テノール歌手秋川雅史さんを招いたSDGsイベントをチャペルサンドリヨン（三島宮川）で開催。参加者たちは、秋川さんが実践する持続可能な取り組みや美しい歌声に聞き入っていました。



より迅速な救助のために
地上40メートルからの救助訓練

10月11日、市消防署救助隊が国道319号線の山田大橋（中之庄町）で救助訓練を実施。橋梁を点検中の作業員が落下したと想定した今回の訓練では、ドローンによる安否確認や40メートルの高さから降下し傷病者を救助する「ロープレスキュー」など、培ってきた技術を実践形式で確認しました。

まちの出来事をお届け

書道パフォーマンス甲子園
紹介動画を公開！



今年2月、書道パフォーマンス甲子園は、地域活性化センターが実施する「ふるさとイベント大賞」で選考委員特別賞を受賞。これを受けて、大会の様子や裏側を伝える動画が製作されました。ぜひご覧ください。



書道の楽しさを知ろう
新宮小・中学校で書道パフォーマンス体験

9月27日、新宮小・中学校に元三島高校書道顧問の服部一啓教授（福岡教育大学）を招き、書道の楽しさに触れる授業をしました。児童たちは、教科書に登場する「くじらぐも」の一節で書道パフォーマンスをした。手漉き和紙に自分の名前の一字を揮毫したりして、大きな作品を作り上げました。

深川正一郎という人物をご存じでしょうか。正一郎は明治35（1902）年、新宮町に生まれ、後に「ホトトギス」同人会長や「日本伝統俳句協会」の副会長を務めるなど、俳句の世界で活躍した人です。

人生の多くを東京で過ごした正一郎ですが、正一郎の胸にはふるさとを恋しく思う気持ちがあり、その気持ちは著述からも伝わってきます。

現在暁雨館で開催中の「郷土の俳人 深川正一郎展」では、ゆかりの資料や市内にある句碑を通して、正一郎の人物像などに迫っています。



11/18・11/19には展示解説あり。各日 13:30～（約30分）

ちよつとそこそ
広報 SAMPO

郷土の俳人
深川正一郎展
10/17～12/17
暁雨館（土居町入野）



全152ページ！
書道パフォーマンス甲子園記念冊子発売

大会の演技の様子やオフショットを始め、参加校の作品やボランティアアスタップの活躍などを掲載した記念冊子を製作。大会にエントリーした全高校に寄贈しました。

数に限りはありますが、一冊1500円で一般販売もしています。購入方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。



書道パフォーマンス甲子園
英語の教科書に進出！

大修館書店発行の検定高等学校英語教科書『Crossroads English Communication II』の書道パフォーマンス甲子園が、「日本の伝統・芸術」というテーマで紹介されました。

市長のひとりごと

この夏は元気に乗り切ろうと思っていたが、生涯初めて、腹痛によりダウンしてしまいました。お腹が張って痛くて堪らなくなり、50時間ほどまいました。最後、総合病院で検査などをして、専門医から胆のうの管が正常の機能をしていないということで、そこを重点に診てくれて、小さなカメラを入れて調べてもらいました。

痛みは点滴で治まったが抜本的に治療をどうするか、自分の体ながらいい勉強をさせていただいた。また、医学的専門知識の担当の先生には感謝であります。あんな臓器の裏側の胆のうなんて分かるはずがない。それを私の痛みを診て

腹いた!!

夏は地域行事や議会日程など、関係者のみなさんには大変ご迷惑をおかけしました。日々用心しながら現状復帰に努めます。

病室から見える夏の空も雲の動きが速くなり、秋がやってきていると、ベッドから首だけ動かしながら見ていた。

病院も、それぞれの持ち場持ち場で懸命に働いていて、朝のお粥を待ちながら、なるほどな！何かわからないうが腕を組んで感心していた。

四国中央市長 篠原 実



ようこそ日本一の紙のまちへ
オレワカレッジの生徒が本市で交流

10月4日から8日までの5日間、ニュージランド国立オレワカレッジの生徒23人が本市に来訪。ホームステイをしながら、市内各所でさまざまな体験をしました。

2日目には川之江高校を、3日目には新宮小・中学校を訪れ授業に参加。文化や言葉の壁を越えて、交流を深めました。



感動と熱気を再び
川之江信用金庫で
書道パフォーマンス甲子園写真展

◆期間・場所
11月1日～24日
川之江信用金庫西支店

◆大会の熱気を伝える写真展が10月10日から川之江信用金庫南支店（金生町下分）で開催されました。11月には場所を西支店（中曽根町）に移して開催されます。青春をかけた高校生の輝く表情や躍動感あふれる写真の数々をご覧ください。